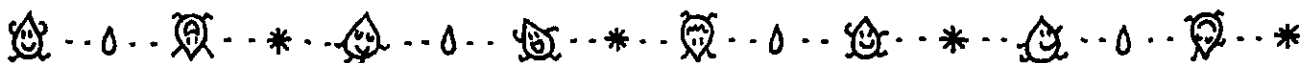




2020年6月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

どんよりとした天気の日毎に、子ども達も元気を持って余し気味です。そんな中では、友だち同士のぶつかり合いもよく見られています。でも、周りの子ども達が気持ちを察して代弁してあげたり、慰めてあげたり、『やっぱり謝った方がいいよ』とすすめてあげたりと、友だち同士で話し合うことができることもあります。植物の成長には欠かせない梅雨の雨は、子ども達の心の成長にも役だっているようです。

室内で過ごす機会が増えるこの季節ですが、『じっくりと取り組める良い時間』と前向きに捉え、5歳児ならではの不思議を見つけ『どうしてこうなるんだろう?』を楽しみながら調べられる時間にしていきたいと思ひます。



生活の様子

当番活動の中に、メダカ当番が加わりました。今までメダカに興味のなかった子どもも、当番が始まったことで気に掛けるようになってきました。先に経験した子どもは、『メダカに餌あげた?』と確認したり『スプーンに半分だよ。』と、やり方を教えてあげたりしています。毎日観察している内に、太っちょ君・チビちゃんとメダカを見分けられるようになった子どももいます。

あそびの様子

昆虫に興味を持つようになりました。まじかに虫を見ることで、図鑑で虫の名前を調べたり、園庭で虫が好む餌を探したりして、お世話をしています。世話をしたい子どもが多くぶつかり合うこともあります。『虫が潰れちゃうよ!!』と止める子どももいて、譲り合う姿も見られています。昆虫に関する知識を得るだけではなく、人間関係も育ててくれているようです。

